



滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

令和5年 第30週 (7/24~7/30) 【概要版】

令和5(2023)年 8月3日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- ヘルパンギーナは、6月22日から県内全域に警報を発令しています。県全体では減少傾向が見られますが、依然として流行しています。
- インフルエンザおよびA群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、「例年より非常に多く」報告されています。いずれも長浜所管内で増加傾向が見られ、インフルエンザについては注意報レベルの流行となっています。咳などの風邪症状がある場合はマスクを着用する(咳エチケット)、手洗いをする、換気をするなど基本的な感染対策をお願いします。
- 梅毒は、累計45例の報告があり、過去最多となった昨年の同時期(35例)を上回っており、過去最多ペースで感染が拡大しています。主に性的接触で感染し、オーラルセックスやアナルセックスでも感染します。感染のリスクを減らすため、コンドームを適切に使用しましょう。もし皮膚や粘膜に異常を認めた場合は、性的な接触を控え、早めに医療機関を受診して相談しましょう。

2. 報告数が多かった定点把握疾患(五類感染症)ⁱ

(1) 滋賀県

疾病名	滋賀県						保健所別 (iv)						
	2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
感染性胃腸炎	3.08	2.39	2.39					多		多	多	多	↑
ヘルパンギーナ	4.75	3.14	2.39	警	○					多		多	多
インフルエンザ	1.14	1.50	1.93		○	○		↑	多			注	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.39	1.17	1.78		○	○	↑	↑	↑		↑	多	多
RSウイルス感染症	1.78	1.61	1.00					多		多	多	多	

(2) 前週の全国、滋賀県および近隣府県の状況(下線: 滋賀県よりも多い)

疾患	全国	滋賀県	大阪府	京都府	福井県	岐阜県	三重県
感染性胃腸炎	<u>3.09</u>	2.39	<u>2.68</u>	2.12	<u>3.28</u>	<u>2.51</u>	<u>3.80</u>
ヘルパンギーナ	<u>4.71</u>	3.14	3.11	1.78	3.04	<u>4.13</u>	<u>6.82</u>
インフルエンザ	<u>1.59</u>	1.50	0.85	1.02	0.18	0.44	<u>3.01</u>
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.14	1.17	<u>1.93</u>	<u>1.40</u>	1.08	0.92	0.31
RSウイルス感染症	<u>2.59</u>	1.61	1.46	1.21	<u>2.56</u>	<u>2.51</u>	<u>5.64</u>



3. 全数把握疾患(滋賀県、今週診断例)

類型	疾病名	滋賀県						保健所別					
		2週前	1週前	今週	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)		大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	高島
三類	腸管出血性大腸菌感染症	5	0	2							1	1	
四類	レジオネラ症	2	0	2	○				1			1	
五類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	0	1	○						1		
五類	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	1	○						1		
五類	侵襲性肺炎球菌感染症	0	3	1	○						1		
五類	梅毒	1	2	3	○	○	1	1	1				
五類	百日咳	1	1	2			2						

i. 定点把握疾患: 人口および医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。

ii. 警: 警報発令、注: 注意報発令

iii. 今週の値が過去5年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」を標記(定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均を利用)

iv. 「警: 警報開始基準を超過」、「注: 注意報基準を超過」、「多: 今週の滋賀県の値よりも多い」、「↑: 前週比増加」(「警報」、「注意報」、「多」、「↑」の順に優先して標記)

滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

令和 5 年第 30 週 (7/24~7/30) 【詳細版】

令和 5 (2023) 年 8 月 3 日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- ヘルパンギーナは、6 月 22 日から県内全域に警報を発令しています。県全体では減少傾向が見られますが、依然として流行しています。
- インフルエンザおよびA群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、「例年より非常に多く」報告されています。いずれも長浜所管内で増加傾向が見られ、インフルエンザについては注意報レベルの流行となっています。咳などの風邪症状がある場合はマスクを着用する(咳エチケット)、手洗いをする、換気をするなど基本的な感染対策をお願いします。
- 梅毒は、累計 45 例の報告があり、過去最多となった昨年の同時期(35 例)を上回っており、過去最多ペースで感染が拡大しています。主に性的接触で感染し、オーラルセックスやアナルセックスでも感染します。感染のリスクを減らすため、コンドームを適切に使用しましょう。もし皮膚や粘膜に異常を認めた場合は、性的な接触を控え、早めに医療機関を受診して相談しましょう。

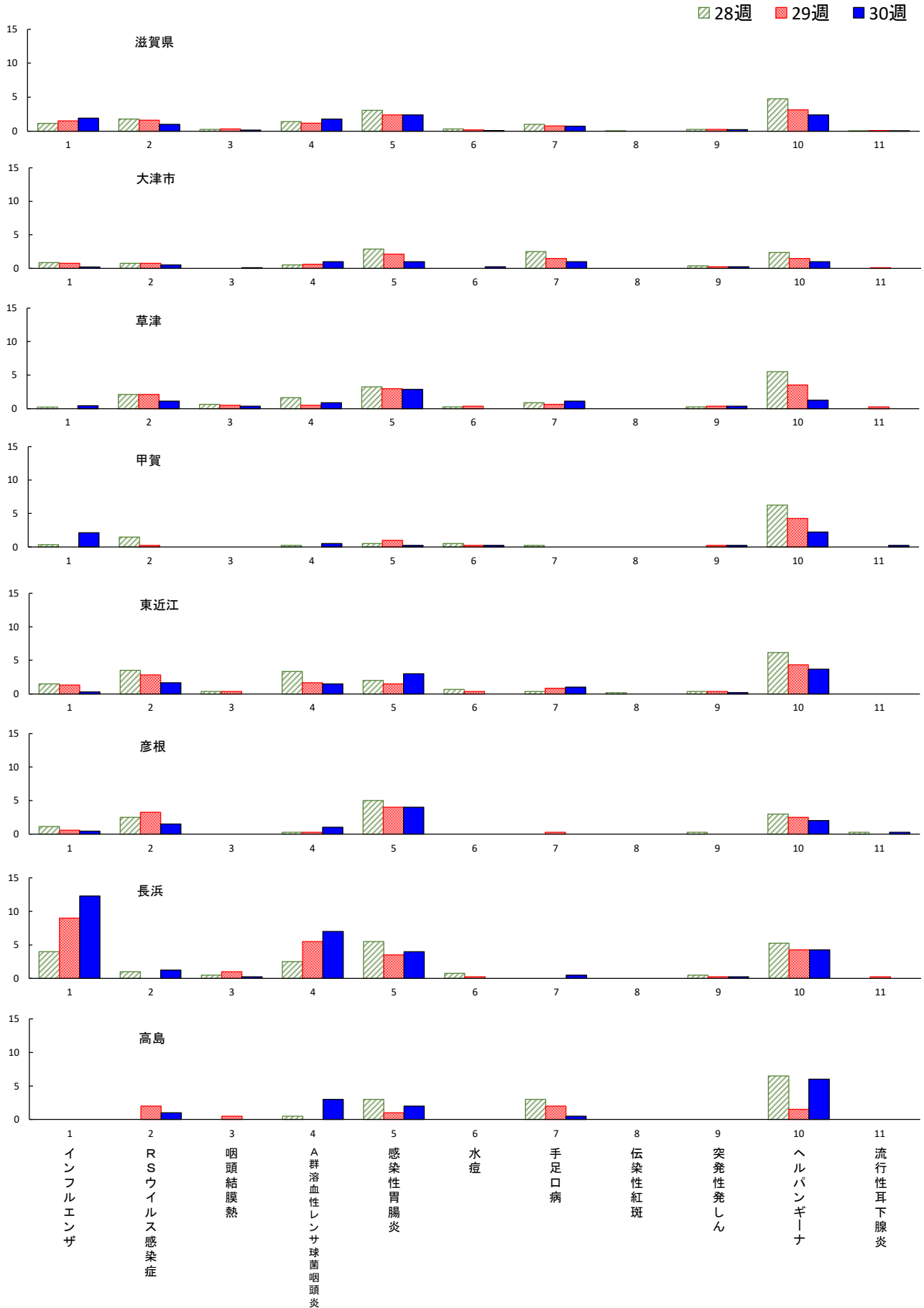
2. 定点把握疾患(五類感染症)の定点当たり報告数(全国は前週)の値^{i, ii, iii, iv}

定点区分 (定点数)	疾病名				滋賀県			保健所別 (iv)							全国 (前週) (iv)	基準値		
		2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津 市	草 津	甲 賀	東 近 江	彦 根	長 浜	高 島		警報 開始	警報 終息	注意報
インフルエンザ (定点数: 60 [※])	インフルエンザ	1.14	1.50	1.93		○	○	0.23	0.46	2.14	0.30	0.43	12.29	0	1.59	30	10	10
小児科 (定点数: 36)	RSウイルス感染症	1.78	1.61	1.00				0.50	1.13	0	1.67	1.50	1.25	1.00	2.59	—	—	—
	咽頭結膜熱	0.25	0.31	0.14				0.13	0.38	0	0	0	0.25	0	0.51	3	1	—
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	1.39	1.17	1.78		○	○	1.00	0.88	0.50	1.50	1.00	7.00	3.00	1.14	8	4	—
	感染性胃腸炎	3.08	2.39	2.39				1.00	2.88	0.25	3.00	4.00	4.00	2.00	3.09	20	12	—
	水痘	0.31	0.19	0.08				0.25	0	0.25	0	0	0	0	0.11	2	1	1
	手足口病	1.00	0.75	0.72				1.00	1.13	0	1.00	0	0.50	0.50	1.24	5	2	—
	伝染性紅斑	0.03	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.02	2	1	—
	突発性発しん	0.28	0.25	0.22				0.25	0.38	0.25	0.17	0	0.25	0	0.24	—	—	—
	ヘルパンギーナ	4.75	3.14	2.39	警	○		1.00	1.25	2.25	3.67	2.00	4.25	6.00	4.71	6	2	—
	流行性耳下腺炎	0.03	0.11	0.06				0	0	0.25	0	0.25	0	0	0.05	6	2	3
眼科 (定点数: 8)	急性出血性結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.01	1	0.1	—
	流行性角結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.36	8	4	—
基幹 (定点数: 7)	細菌性髄膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.02	—	—	—
	無菌性髄膜炎	0.14	0.14	0.14		○		0	0	1.00	0	0	0	0	0.04	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.02	—	—	—
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—
	インフルエンザ入院	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.19	—	—	—

※第 28 週(2 週前)のインフルエンザ定点数は滋賀県 59 医療機関となっています。

- 定点把握疾患: 人口および医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。
- 定点当たり報告数が「警報開始基準値」を超える全ての保健所の管内人口の合計が、県人口全体の 30%を超えた場合に滋賀県全域に警報を発令(「警」)します。また、定点当たり報告数が「注意報基準値」を超えた場合に注意報(「注」)を発令します。
- 今週の値が過去5年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」を標記(定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計 15 週の平均を利用)
- 赤字斜字:** 警報開始基準を超過、**紫字斜字:** 注意報基準を超過

3. 定点把握疾患（五類感染症）の保健所別推移（滋賀県、今週と過去2週）



4. 定点把握疾患（五類感染症）の年齢階級別報告数（滋賀県、今週）

インフルエンザ定点 (60医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
インフルエンザ	116	-	2	2	5	1	9	10	17	15	9	8	14	2	2	4	5	4	4	2	1
大津市保健所	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-
草津保健所	6	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-
甲賀保健所	15	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	1	3	3	3	1	1
東近江保健所	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
彦根保健所	3	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
長浜保健所	86	-	-	1	4	1	8	10	16	14	9	7	12	1	-	1	1	-	1	-	-
高島保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

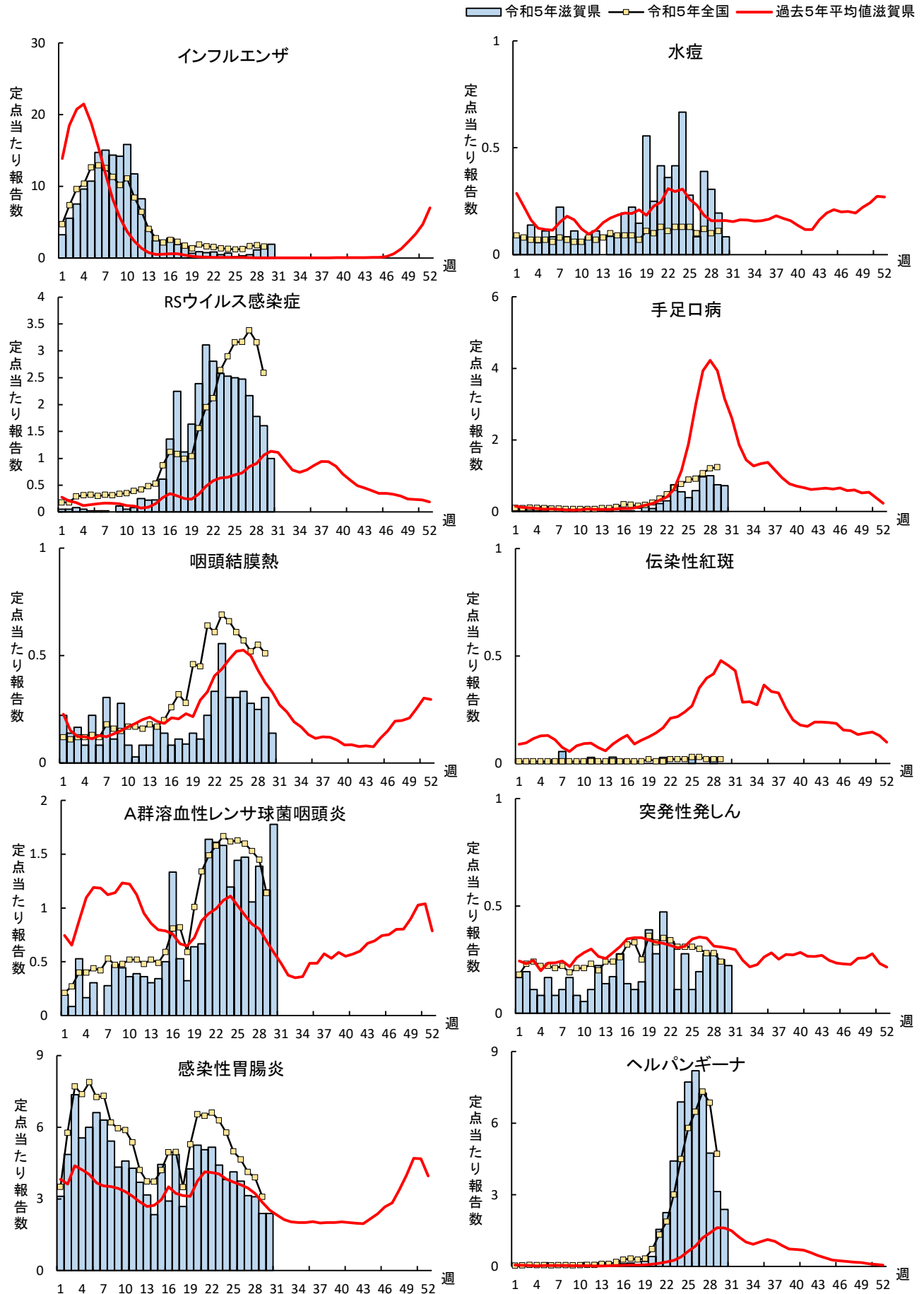
小児科定点 (36医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	36	7	6	10	7	1	2	-	-	1	-	1	-	-	1
咽頭結膜熱 (プール熱)	5	-	-	2	-	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	64	-	-	1	3	-	10	10	8	9	7	4	3	-	9
感染性胃腸炎	86	1	11	16	8	13	12	8	3	2	1	5	6	-	-
水痘	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1
手足口病	26	-	-	6	5	4	2	6	3	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑 (リンゴ病)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	8	-	3	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	86	1	3	14	17	12	15	12	4	6	-	-	2	-	-
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	2	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-

眼科定点 (8医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

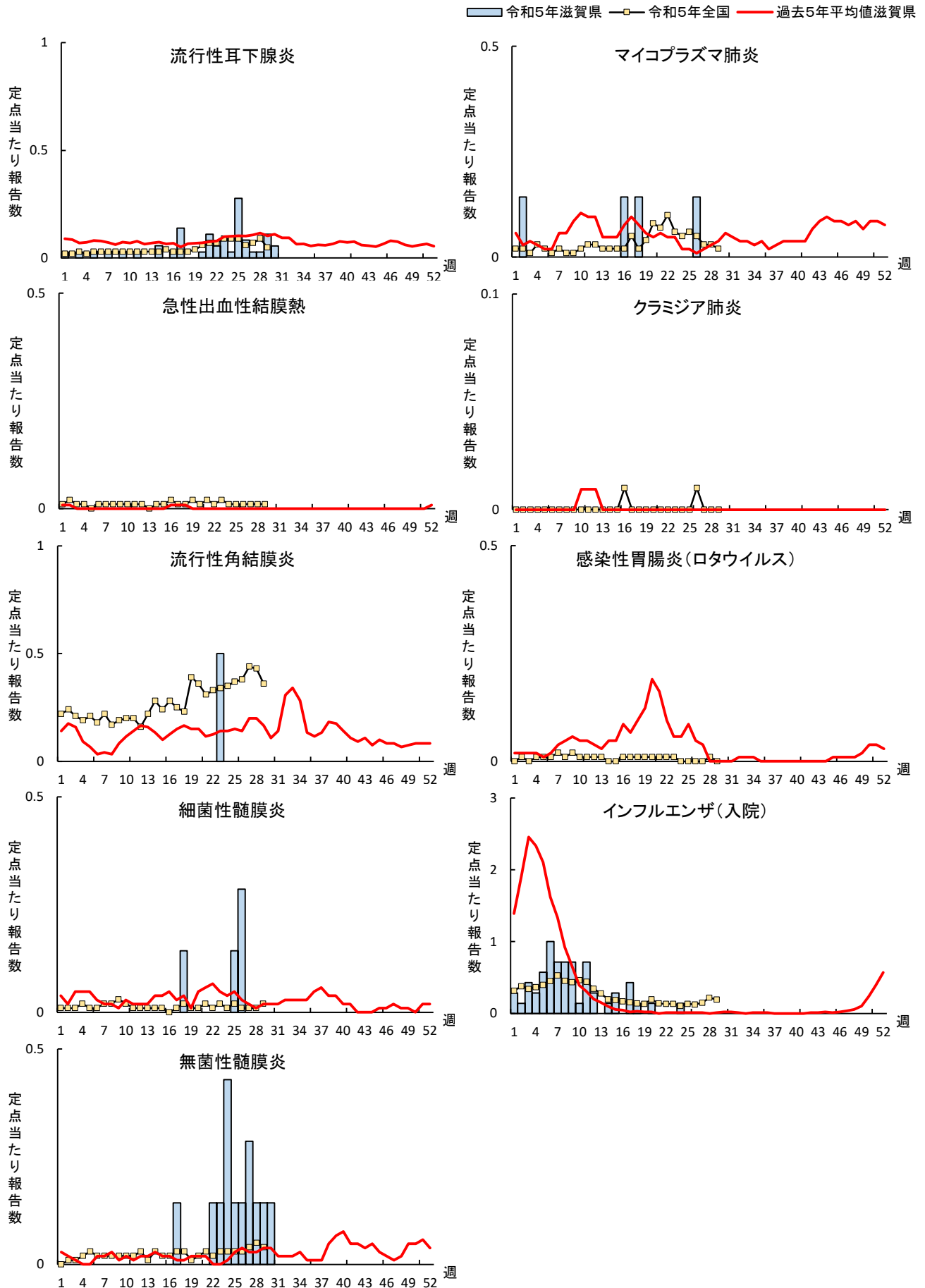
基幹定点 (7医療機関)	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ入院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

「-」: 報告なし

5-1. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は前週まで掲載）



5-2. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は前週まで掲載）



6. 全数把握疾患 詳細情報（今週報告例）^v

類型	疾患	診断週	保健所	年齢	性別	病型等	推定感染地	病原体等
三類	腸管出血性大腸菌感染症	30	東近江	70歳代	女	無症状病原体保有者	県内	O136 VT1
	腸管出血性大腸菌感染症	30	彦根	20歳代	男	-	県内	O157 VT2
四類	レジオネラ症	30	草津	70歳代	男	肺炎型	-	-
	レジオネラ症	30	彦根	60歳代	女	肺炎型	県内	-
五類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	30	東近江	70歳代	男	-	県内	A群
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	30	東近江	10歳未満	男	-	県内	ワクチン接種歴3回
	侵襲性肺炎球菌感染症	30	東近江	80歳代	男	-	県内	ワクチン接種歴不明
	梅毒	30	大津市	30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	県外	-
	梅毒	30	草津	30歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	県内	-
	梅毒	30	甲賀	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	-	-
	百日咳	30	大津市	10歳未満	女	-	県内	ワクチン接種歴4回
	百日咳	30	大津市	10歳未満	女	-	県内	ワクチン接種歴4回

v. 感染症発生動向調査事業において、一～四類および五類感染症の全数報告対象の感染症が、診断した医師から最寄りの保健所へ届出されています。

今週の注目すべき感染症

■ ヘルパンギーナ

(1) ヘルパンギーナの警報発令について(滋賀県)

<https://www.pref.shiga.lg.jp/file/attachment/5408401.pdf>

(2) ヘルパンギーナとは(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/515-herpangina.html>

■ 梅毒

(1) 梅毒に関する Q&A(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/syphilis_qa.html

(2) 梅毒とは(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ha/syphilis/392-encyclopedia/465-syphilis-info.html>

■ 新型コロナウイルス感染症

(1) 新型コロナウイルス感染症の国内発生状況等について(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kokunainohasseijoukyou.html>

(2) 新型コロナウイルス感染症に関する滋賀県の状況について(滋賀県)

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryouhukushi/yakuzi/309252.html>

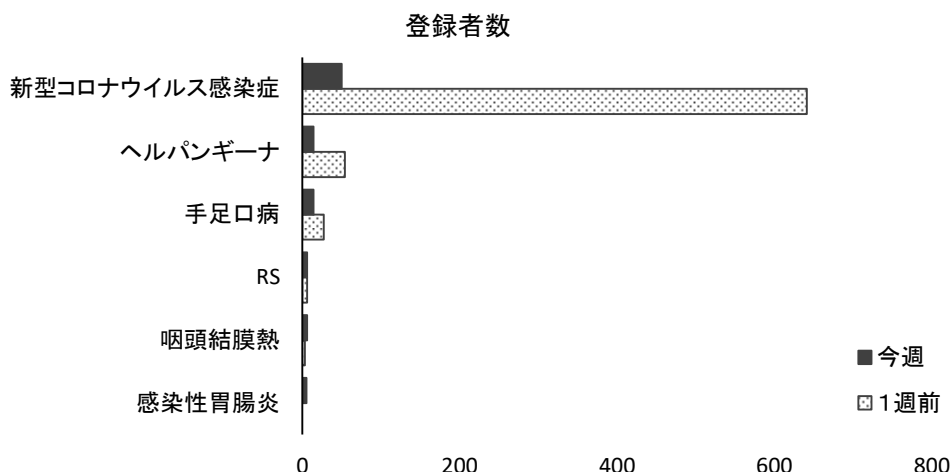
7. 全数把握疾患の累積患者報告数 保健所別（令和5年）^{vi, vii}

疾患	滋賀県			保健所別累積報告数							全国		昨年累積報告数	
	例年より多い	例年より非常に多い	累積報告数	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	（前週）		滋賀県	全国
二類 結核			75	24	14	8	9	8	6	6	7523		158	14784
			5.32	6.95	4.00	5.66	4.00	5.20	4.04	13.28	6.03		11.20	11.78
三類 腸管出血性大腸菌感染症			19	3	4	0	7	3	2	0	1475		46	3376
			1.35	0.87	1.14	0.00	3.11	1.95	1.35	0.00	0.36		3.26	2.69
四類 E型肝炎	○		1	0	1	0	0	0	0	0	343		0	434
			0.07	0.00	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.36		0.00	0.35
A型肝炎	○		1	1	0	0	0	0	0	0	32		0	69
			0.07	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.36		0.00	0.05
つつが虫病	○		1	0	0	0	0	0	1	0	106		1	493
			0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.67	0.00	0.08		0.07	0.39
レジオネラ症	○		17	4	3	1	1	5	1	2	1168		33	2144
			1.21	1.16	0.86	0.71	0.44	3.25	0.67	4.43	0.94		2.34	1.71
五類 アメーバ赤痢			3	2	0	0	0	0	1	0	271		9	536
			0.21	0.58	0.00	0.00	0.00	0.00	0.67	0.00	0.22		0.64	0.43
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症			8	4	1	0	2	0	1	0	980		20	2010
			0.57	1.16	0.29	0.00	0.89	0.00	0.67	0.00	0.79		1.42	1.60
急性脳炎	○		3	2	0	0	0	0	1	0	284		1	398
			0.21	0.58	0.00	0.00	0.00	0.00	0.67	0.00	0.23		0.07	0.32
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	○		9	3	1	0	2	0	3	0	469		15	744
			0.64	0.87	0.29	0.00	0.89	0.00	2.02	0.00	0.38		1.06	0.59
後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）			1	1	0	0	0	0	0	0	535		5	892
			0.07	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.43		0.35	0.71
侵襲性インフルエンザ菌感染症	○		6	2	1	0	2	0	1	0	303		3	210
			0.43	0.58	0.29	0.00	0.89	0.00	0.67	0.00	0.24		0.21	0.17
侵襲性肺炎球菌感染症	○		17	6	3	0	5	1	2	0	1016		19	1345
			1.21	1.74	0.86	0.00	2.22	0.65	1.35	0.00	0.81		1.35	1.07
水痘（入院例）	○		5	0	1	0	2	0	2	0	213		6	328
			0.35	0.00	0.29	0.00	0.89	0.00	1.35	0.00	0.17		0.43	0.26
梅毒	○	○	45	12	15	7	5	1	5	0	8349		69	13226
			3.19	3.47	4.29	4.95	2.22	0.65	3.37	0.00	6.69		4.89	10.54
播種性クリプトコックス症	○		2	2	0	0	0	0	0	0	99		2	158
			0.14	0.58	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08		0.14	0.13
破傷風	○	○	1	0	1	0	0	0	0	0	53		0	96
			0.07	0.00	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04		0.00	0.08
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	○		1	1	0	0	0	0	0	0	78		0	132
			0.07	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06		0.00	0.11
百日咳			9	9	0	0	0	0	0	0	508		10	500
			0.64	2.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.41		0.71	0.40
薬剤耐性アシネトバクター感染症	○	○	1	0	0	0	0	0	1	0	10		0	13
			0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.67	0.00	0.01		0.00	0.01

- vi. 今年第1週以降に診断された感染症の累積報告数を全国、滋賀県および保健所別に示しています。上段に「今年累積報告数」、下段に「人口10万人当たりの累積報告数」を示しています。
- vii. 今年と過去5年の同時期の累積報告数の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、または「平均値＋2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記

【参考】今週の学校欠席者情報収集システム（保育園サーベイランス含む）概況（滋賀県）

滋賀県では、園および学校等により、感染症による欠席者等の情報を学校等欠席者・感染症情報収集システム(https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view_all.php)へ毎日入力いただいています。入力いただいたデータを、本感染症週報と同期間について、集計して掲載しています。



図：学校欠席者情報収集システム（保育園サーベイランス含む）において登録数の多い疾患

【全国情報】国立感染症研究所 感染症疫学センターHPに掲載されています。

感染症発生動向調査 週報 (IDWR) <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>
 病原微生物検出情報 (IASR) <https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr.html>
 インフルエンザ様疾患発生報告 (学校欠席者数) <https://www.niid.go.jp/niid/ja/flu-flulike.html>

【届出対象疾患】厚生労働省 HP に掲載されています。

感染症法に基づく医師の届出のお願い
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html

滋賀県感染症発生動向調査週報は、感染症法に基づいて県内の医師、定点医療機関および県内各保健所より報告されたデータを用いて、滋賀県衛生科学センター健康科学情報係において作成しています。

本情報は滋賀県感染症情報センターホームページに掲載しております。

滋賀県感染症情報センターHP:

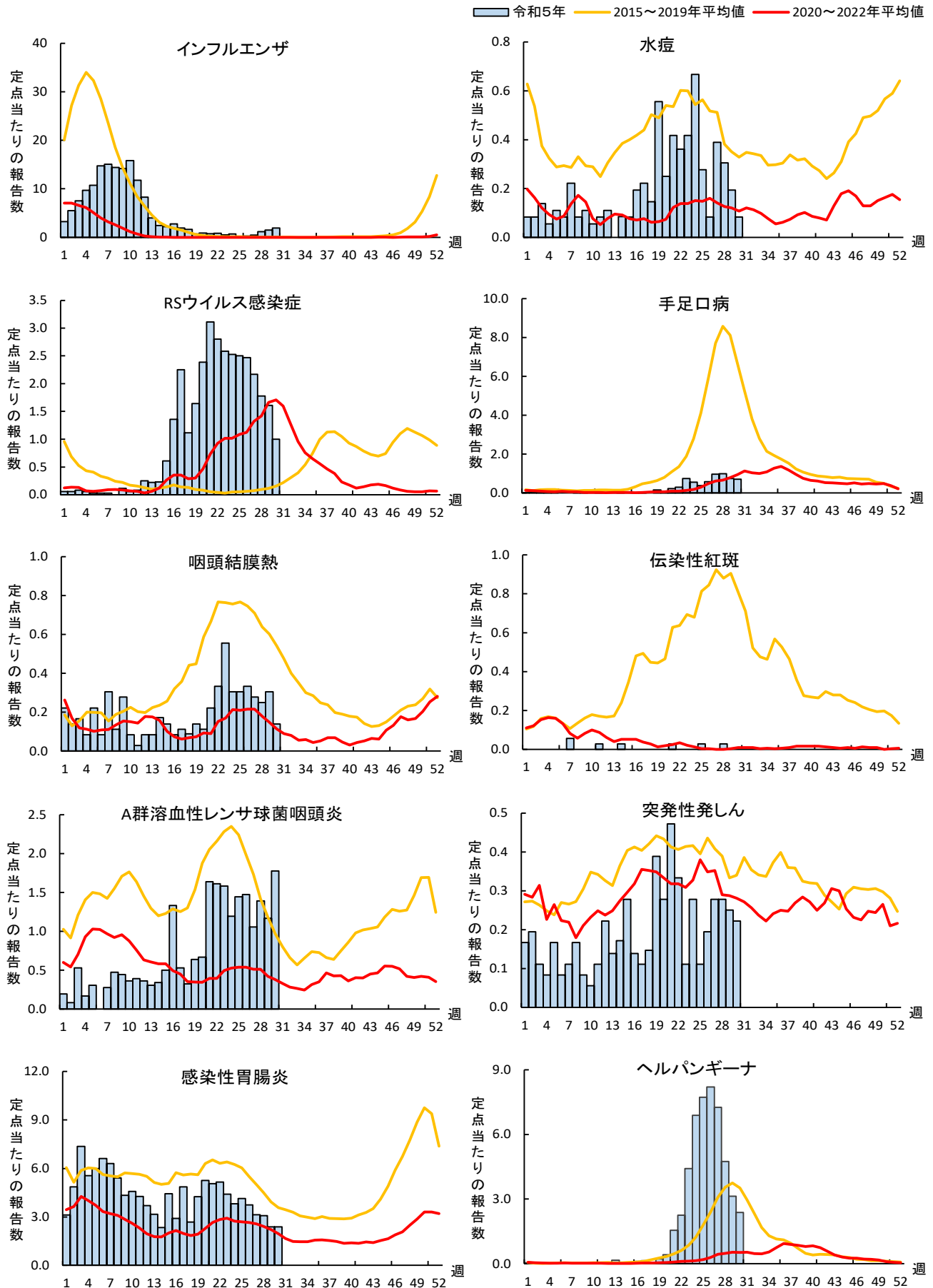
<https://www.pref.shiga.lg.jp/eiseikagaku/kansensyou/>

イラストは滋賀県健康づくりキャラクター「しがのハグ&クミ」

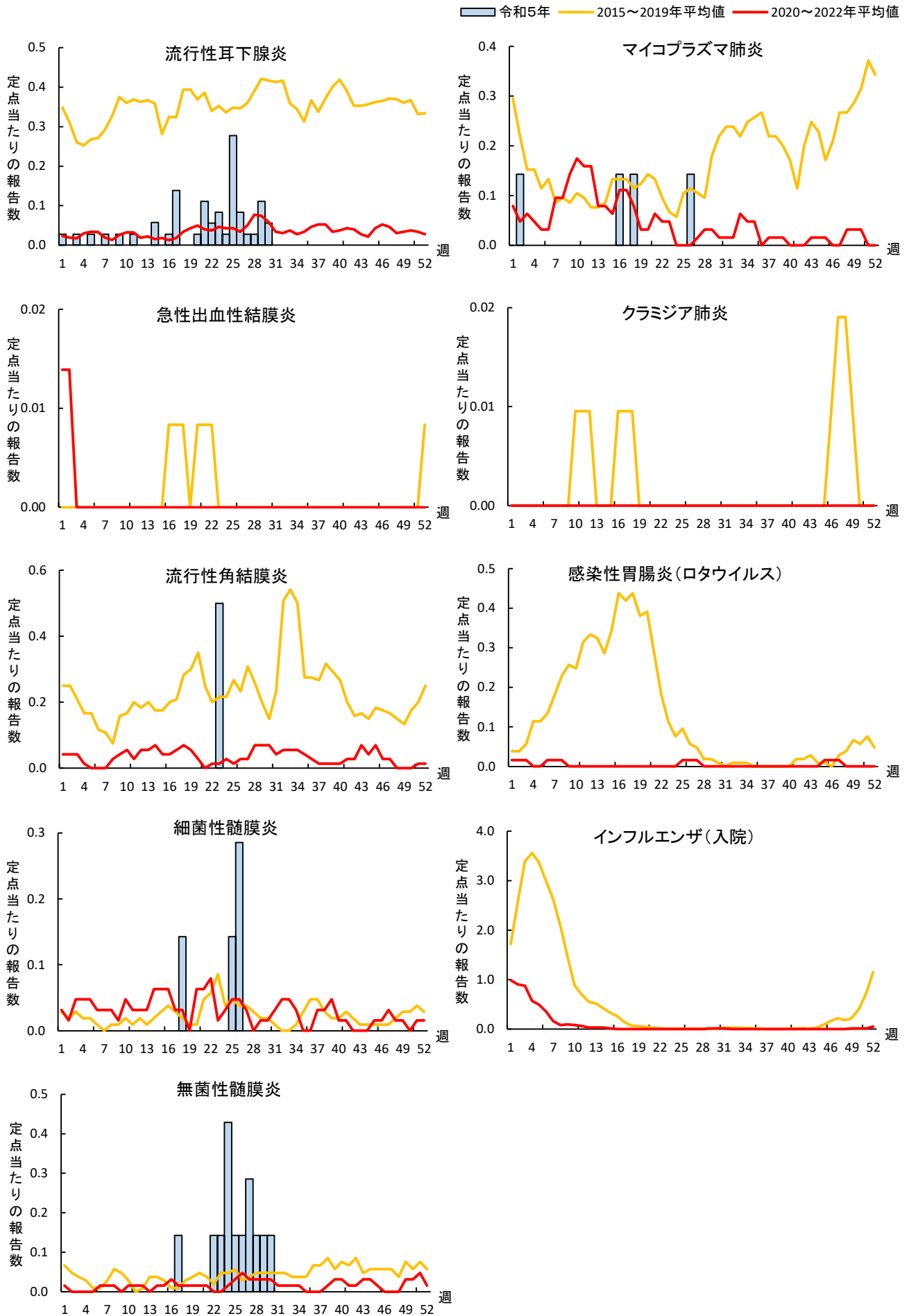


【参考】定点把握疾患の発生動向（滋賀県、令和5年とCOVID-19 前後の平均値）

COVID-19 流行により 2020 年以降の感染症発生動向に変化が見られたため、今年の発生動向と流行前(2015～2019 年)と流行後(2020～2022 年)の発生動向を比較できるようにグラフを掲載します。



【参考】定点把握疾患の発生動向（滋賀県、令和5年とCOVID-19 前後の平均値）



滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

令和5年第30週（7/24～7/30）【COVID-19 情報】

令和5（2023）年8月3日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- ・滋賀県の定点当たりの報告数は、先週と比べ横ばいとなっています。
- ・年齢別では10歳未満で増加傾向が見られ、10歳代で減少傾向が見られます。保健所別では、東近江、高島保健所管内で増加傾向が見られ、その他の保健所管内では横ばいで推移しています。
- ・昨夏に大きな流行が見られたことから、感染者数が増加することが懸念されます。咳などの風邪症状がある場合はマスクを着用する（咳エチケット）、手洗いをする、換気をするなど基本的な感染対策をお願いします。

2. COVID-19の定点当たり報告数（全国は前週）の値

定点当たりの報告数とは、定点医療機関からの1週間の報告数を定点医療機関数（COVID-19は60）で割った値のことで、1医療機関当たりの報告数のことです。（例：1週間の報告数200 ÷ 60 ≒ 3.33）

疾病名	滋賀県			保健所別							全国 （前週）
	2週前	1週前	今週	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
新型コロナウイルス感染症	11.83	15.28	14.90	24.15	9.77	11.43	15.90	13.14	9.43	18.67	13.91

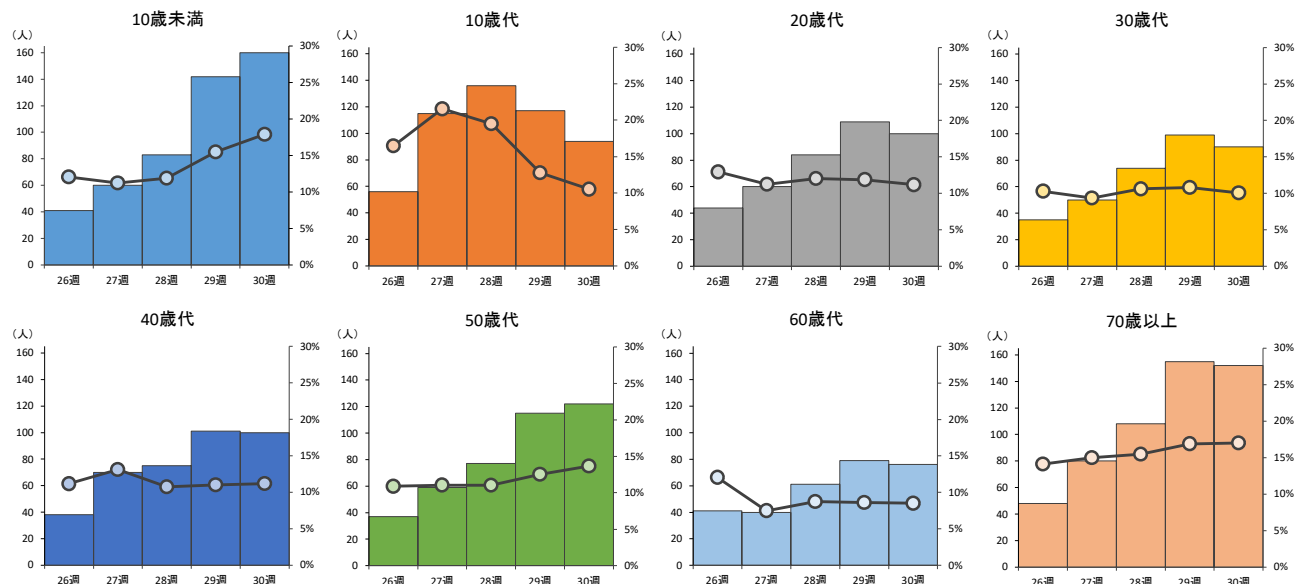
3. COVID-19の年齢階級別報告数（滋賀県、今週）

「-」：報告なし

COVID-19定点	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
滋賀県 （60医療機関）	894	17	17	23	11	15	14	7	16	16	15	9	56	38	100	90	100	122	76	63	89
大津市保健所 （13医療機関）	314	2	-	8	2	2	2	-	1	1	3	4	10	15	40	34	45	55	31	21	38
草津保健所 （13医療機関）	127	3	4	3	1	1	2	2	2	2	4	2	8	7	18	21	9	13	4	15	6
甲賀保健所 （7医療機関）	80	1	4	2	1	4	1	-	2	2	1	-	7	-	6	6	8	10	9	3	13
東近江保健所 （10医療機関）	159	6	8	8	2	2	6	3	4	7	4	1	13	6	19	16	14	11	10	7	12
彦根保健所 （7医療機関）	92	2	-	-	1	3	1	-	2	2	-	1	4	5	6	4	15	15	12	12	7
長浜保健所 （7医療機関）	66	3	1	2	3	3	-	1	3	1	1	-	11	2	6	2	3	11	4	1	8
高島保健所 （3医療機関）	56	-	-	-	1	-	2	1	2	1	2	1	3	3	5	7	6	7	6	4	5

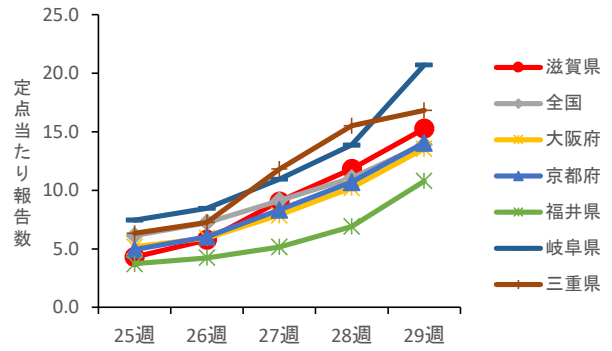
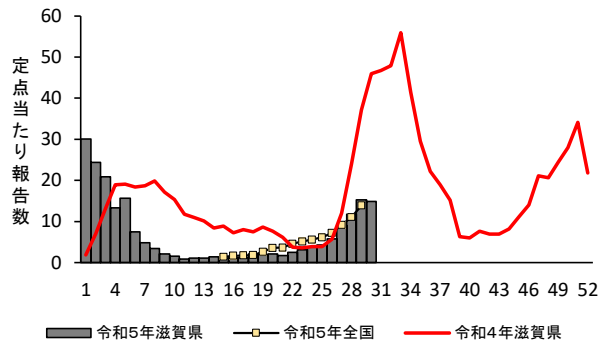
4. COVID-19の年齢階級別推移（滋賀県）

棒グラフ（左軸）：報告数（人） 折れ線グラフ（右軸）：全年齢に占める割合（%）

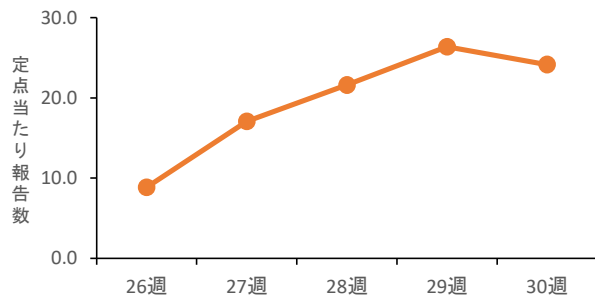


※第28週（2週前）の定点数は、滋賀県59医療機関となっています。

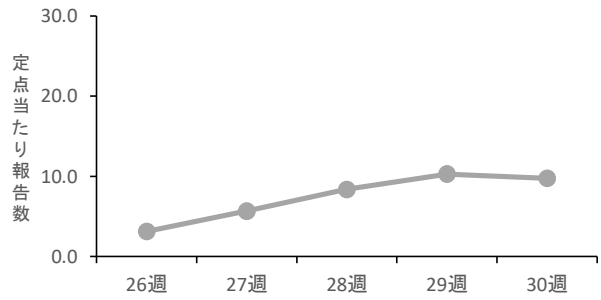
5. COVID-19の発生動向・保健所別推移等（全国・他府県は前週まで掲載）



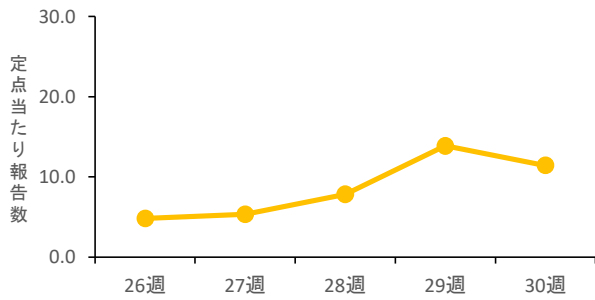
大津市



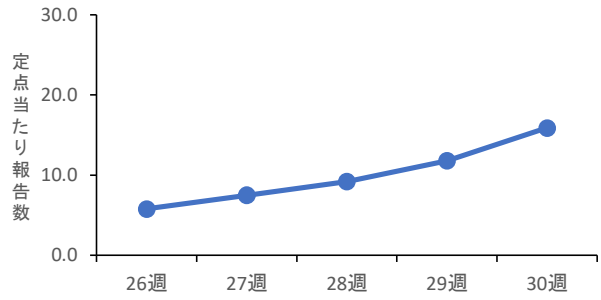
草津



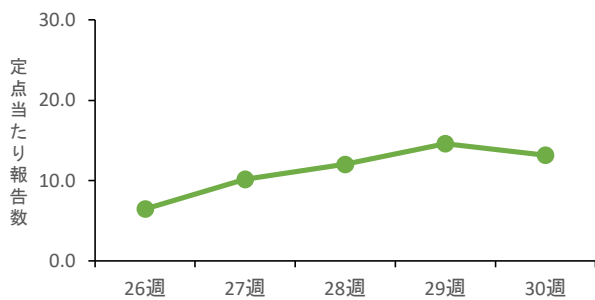
甲賀



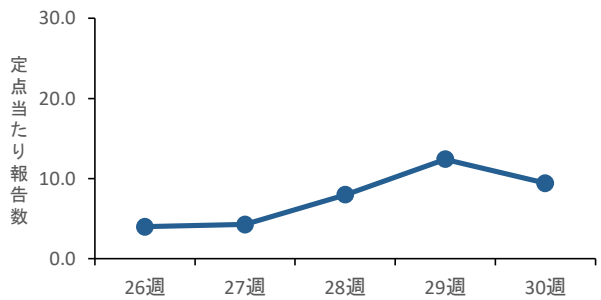
東近江



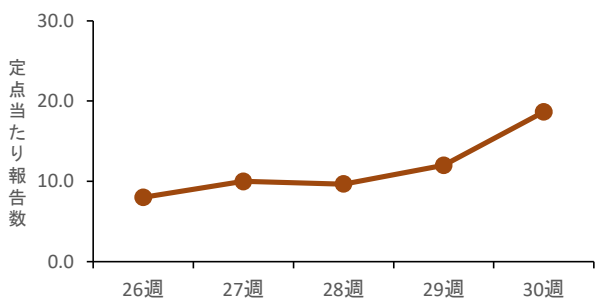
彦根



長浜



高島



学校欠席者情報収集システム（滋賀県）

